



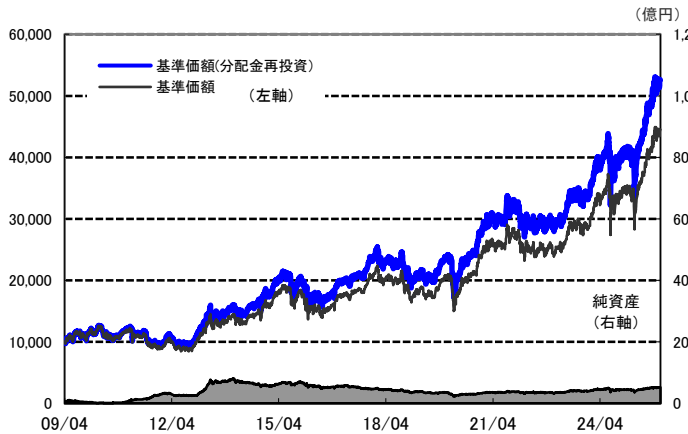
円コース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 44,536 円

※分配金控除後

純資産総額 52.2 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.3%
3ヵ月	7.9%
6ヵ月	18.9%
1年	26.5%
3年	85.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 426.3%

設定来累計 2,465 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	10 円
2025年11月	10 円
2025年10月	10 円
2025年9月	10 円
2025年8月	10 円

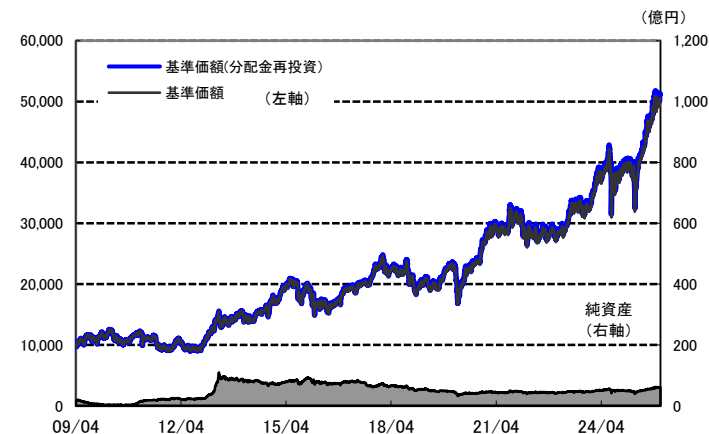
円コース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 50,446 円

※分配金控除後

純資産総額 61.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.3%
3ヵ月	7.9%
6ヵ月	18.9%
1年	26.5%
3年	84.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 412.8%

設定来累計 310 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



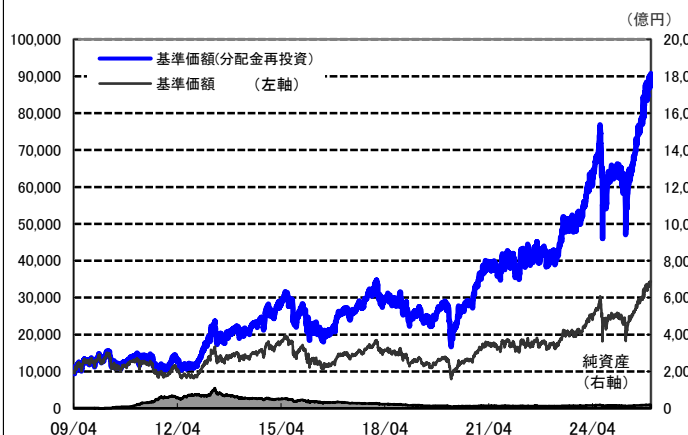
豪ドルコース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 34,440 円

※分配金控除後

純資産総額 191.5 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	4.6%
3ヵ月	16.2%
6ヵ月	32.7%
1年	38.0%
3年	131.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 806.8%

設定来累計 13,650 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	60 円
2025年11月	60 円
2025年10月	60 円
2025年9月	60 円
2025年8月	60 円

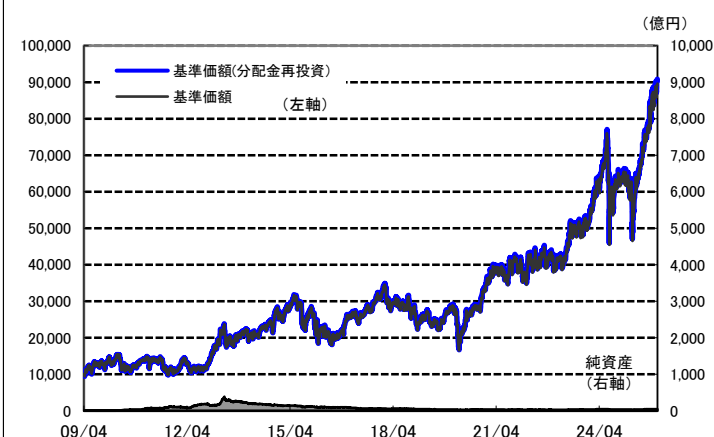
豪ドルコース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 89,575 円

※分配金控除後

純資産総額 51.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	4.6%
3ヵ月	16.1%
6ヵ月	32.6%
1年	38.0%
3年	131.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 808.4%

設定来累計 330 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



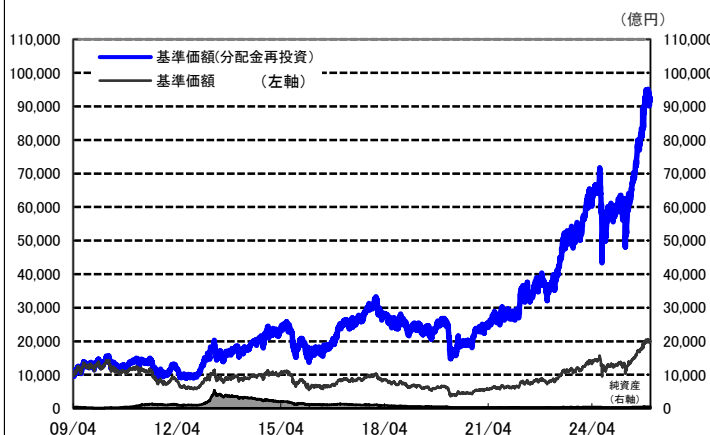
ブラジルリアルコース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 20,058 円

※分配金控除後

純資産総額 468.4 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.3%
3ヵ月	12.8%
6ヵ月	34.3%
1年	54.3%
3年	166.9%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 826.6%

設定来累計 12,900 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	10 円
2025年11月	10 円
2025年10月	10 円
2025年9月	10 円
2025年8月	10 円

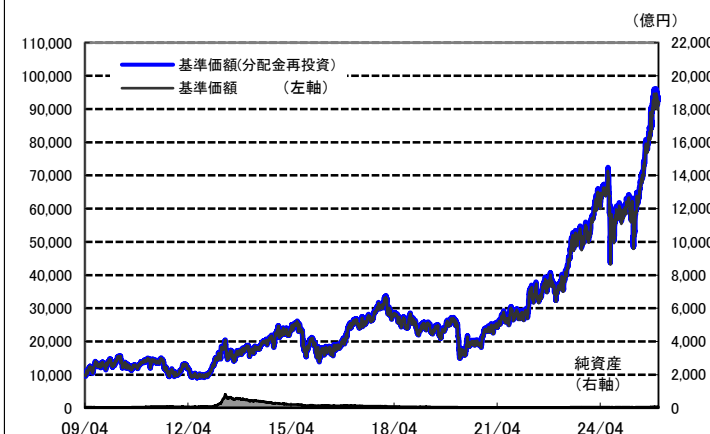
ブラジルリアルコース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 92,317 円

※分配金控除後

純資産総額 57.5 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	-0.3%
3ヵ月	12.8%
6ヵ月	34.3%
1年	54.4%
3年	167.7%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 836.9%

設定来累計 320 円

設定来=2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2009年4月23日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



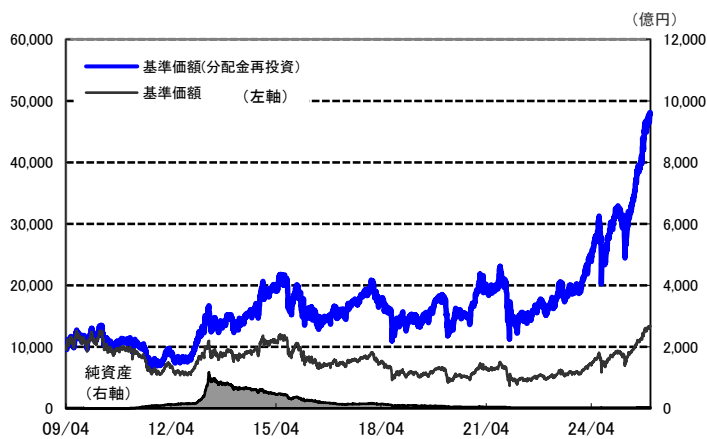
トルコリラコース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 13,415 円

※分配金控除後

純資産総額 37.7 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.1%
3ヵ月	18.6%
6ヵ月	41.3%
1年	48.0%
3年	205.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 380.8%

設定来累計 9,690 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

●信託設定日 2009年4月23日
●信託期間 2029年4月23日まで
●決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	20 円
2025年11月	20 円
2025年10月	20 円
2025年9月	20 円
2025年8月	20 円

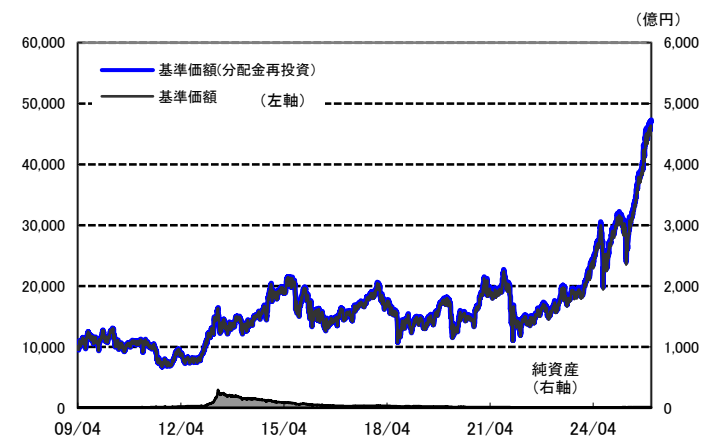
トルコリラコース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 46,369 円

※分配金控除後

純資産総額 13.8 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	3.1%
3ヵ月	18.6%
6ヵ月	41.5%
1年	48.6%
3年	207.0%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 372.6%

設定来累計 300 円

設定来= 2009年4月23日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

●信託設定日 2009年4月23日
●信託期間 2029年4月23日まで
●決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



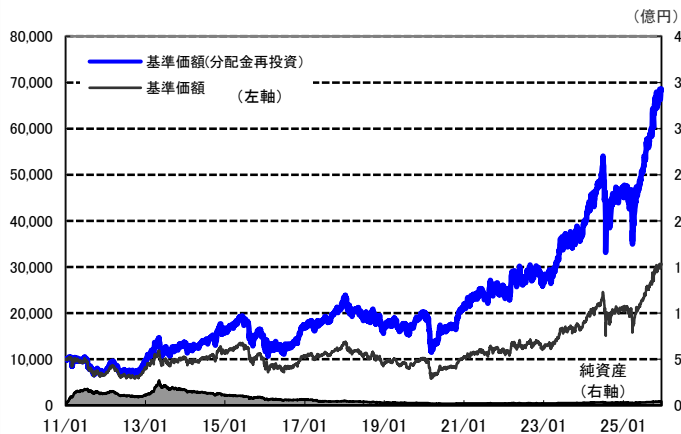
資源国通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 30,686 円

※分配金控除後

純資産総額 41.1 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.9%
3ヵ月	15.8%
6ヵ月	35.8%
1年	46.4%
3年	154.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 585.9%

設定来累計 7,960 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	20 円
2025年11月	20 円
2025年10月	20 円
2025年9月	20 円
2025年8月	20 円

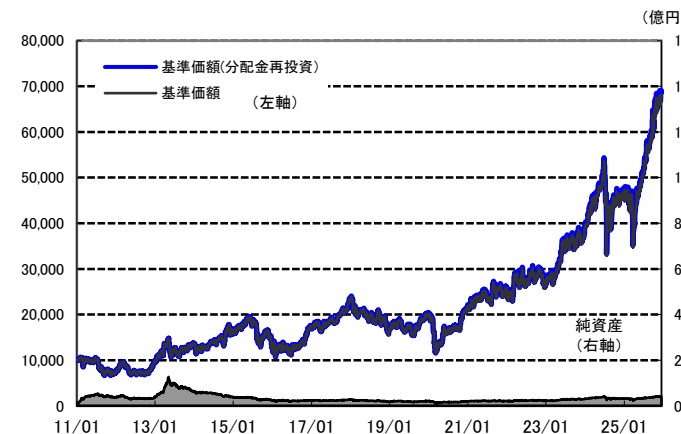
資源国通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 68,095 円

※分配金控除後

純資産総額 40.2 億円

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	2.9%
3ヵ月	15.8%
6ヵ月	35.8%
1年	46.5%
3年	154.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 590.8%

設定来累計 270 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



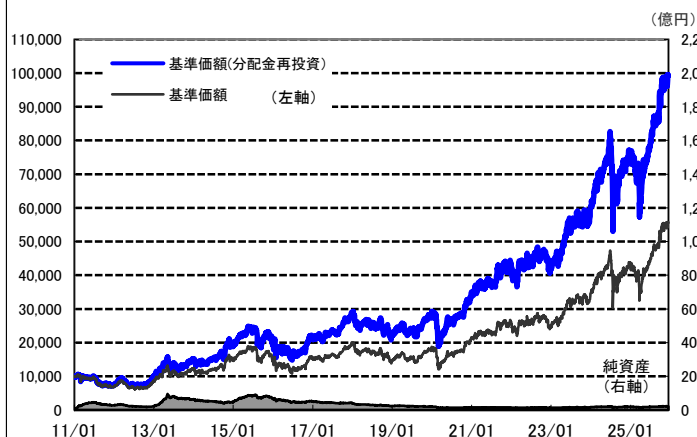
アジア通貨コース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 55,755 円

※分配金控除後

純資産総額 22.6 億円

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.3%
3ヵ月	14.1%
6ヵ月	27.9%
1年	28.8%
3年	136.2%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 894.3%

設定来累計 8,950 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月	50 円
2025年11月	50 円
2025年10月	50 円
2025年9月	50 円
2025年8月	50 円

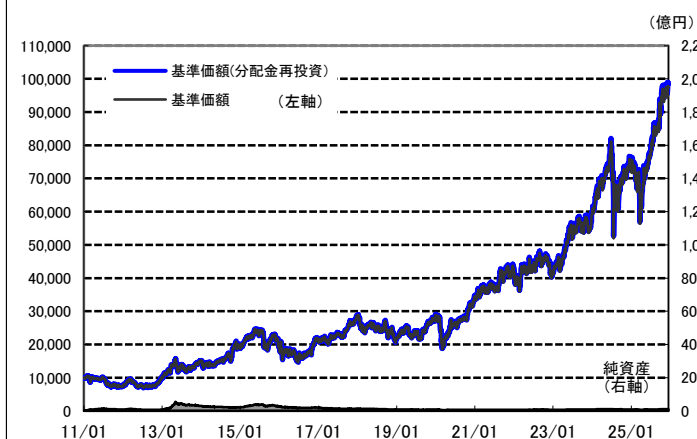
アジア通貨コース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 97,717 円

※分配金控除後

純資産総額 10.2 億円

- 信託設定日 2011年1月17日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	1.3%
3ヵ月	14.1%
6ヵ月	27.9%
1年	29.0%
3年	136.4%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 888.1%

設定来累計 270 円

設定来= 2011年1月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月	10 円
2025年4月	10 円
2024年10月	10 円
2024年4月	10 円
2023年10月	10 円

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



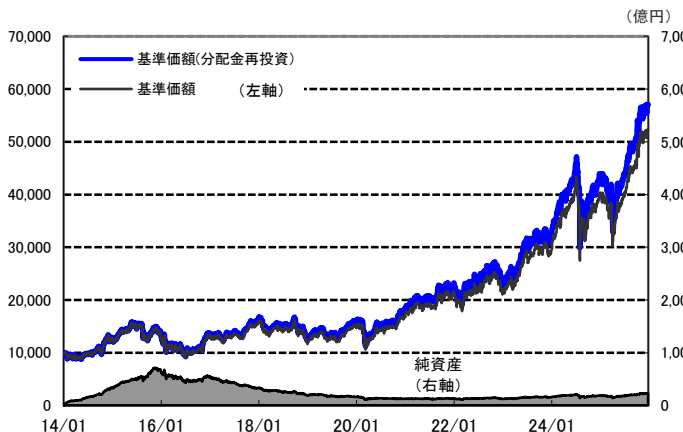
米ドルコース(毎月分配型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※

52,276 円

※分配金控除後

純資産総額

226.2 億円

騰落率

期間 ファンド

1ヵ月 1.5%

3ヵ月 14.1%

6ヵ月 30.3%

1年 29.8%

3年 140.8%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来

470.8%

設定来累計

1,430 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則、毎月22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年12月 10 円

2025年11月 10 円

2025年10月 10 円

2025年9月 10 円

2025年8月 10 円

米ドルコース(年2回決算型)

運用実績

2025年12月30日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:日次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※

56,091 円

※分配金控除後

純資産総額

228.4 億円

騰落率

期間 ファンド

1ヵ月 1.5%

3ヵ月 14.2%

6ヵ月 30.4%

1年 29.9%

3年 140.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来

467.9%

設定来累計

220 円

設定来= 2014年1月14日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2014年1月14日
- 信託期間 2029年4月23日まで
- 決算日 原則4月、10月の各22日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

2025年10月 10 円

2025年4月 10 円

2024年10月 10 円

2024年4月 10 円

2023年10月 10 円

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)、ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンドの資産内容と組入上位10銘柄

資産内容

2025年12月30日 現在

資産別配分	
資産	純資産比
株式	82.6%
株式先物	14.4%
株式計	97.0%
その他の資産	17.4%
合計	—

・先物の建玉がある場合は、合計額を表示しておりません。

ポートフォリオ特性値	
配当利回り(年率)	1.5%

・配当利回り:組入銘柄の今期または前期の配当予想(課税前)を、加重平均して算出。
(東洋経済新報社データ等を基に野村アセットマネジメントが作成)

業種別配分	
業種	純資産比
電気機器	19.6%
機械	7.9%
小売業	7.0%
銀行業	6.9%
保険業	6.1%
その他の業種	35.2%
その他の資産	17.4%
合計	100.0%

・業種は東証33業種分類による。

組入上位10銘柄

2025年12月30日 現在

銘柄	業種	純資産比
FOOD & LIFE COMPANIE	小売業	2.9%
三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.9%
第一生命ホールディングス	保険業	2.7%
富士通	電気機器	2.5%
東京エレクトロン	電気機器	2.4%
スズキ	輸送用機器	2.4%
トヨタ自動車	輸送用機器	2.2%
日本電気	電気機器	2.2%
東京海上ホールディングス	保険業	2.2%
第一三共	医薬品	2.1%
合計		24.5%

組入銘柄数 : 86銘柄

・業種は東証33業種分類による。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引について

為替予約取引とNDF取引

為替取引は、主に「為替予約取引」を用います。
しかし、中国元、ブラジルレアル、インドルピー、インドネシアルピアなど、一部の新興国通貨では内外の資金流出入を抑止する当局の規制などを背景とし、機動的に「為替予約取引」ができません。



そこで、**NDF取引**を活用します。

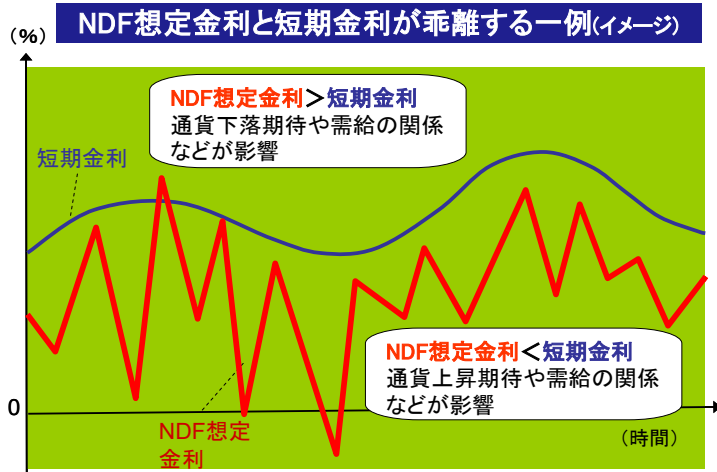
NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- ◆為替先渡取引の一種で、主に金融機関との相対で取引
- ◆当該通貨の受け渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済
- ◆NDF取引を用いた為替取引では、通常の為替予約取引と比べ、為替市場、金利市場の影響により、NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離する場合があります。



◎NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアムの減少やコストの発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

乖離の背景は、
各種規制で金融市場の自由度が高くないことから、割高や割安を是正する市場のメカニズムが十分に機能しないことなどが挙げられます。



(注) 上記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。
また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

上記の要因以外でも、円の短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアムが減少したり、コストが生じる可能性があります。

(出所) 各種情報に基づき野村アセットマネジメント作成

(注) 上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)*ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳しい内容については、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。

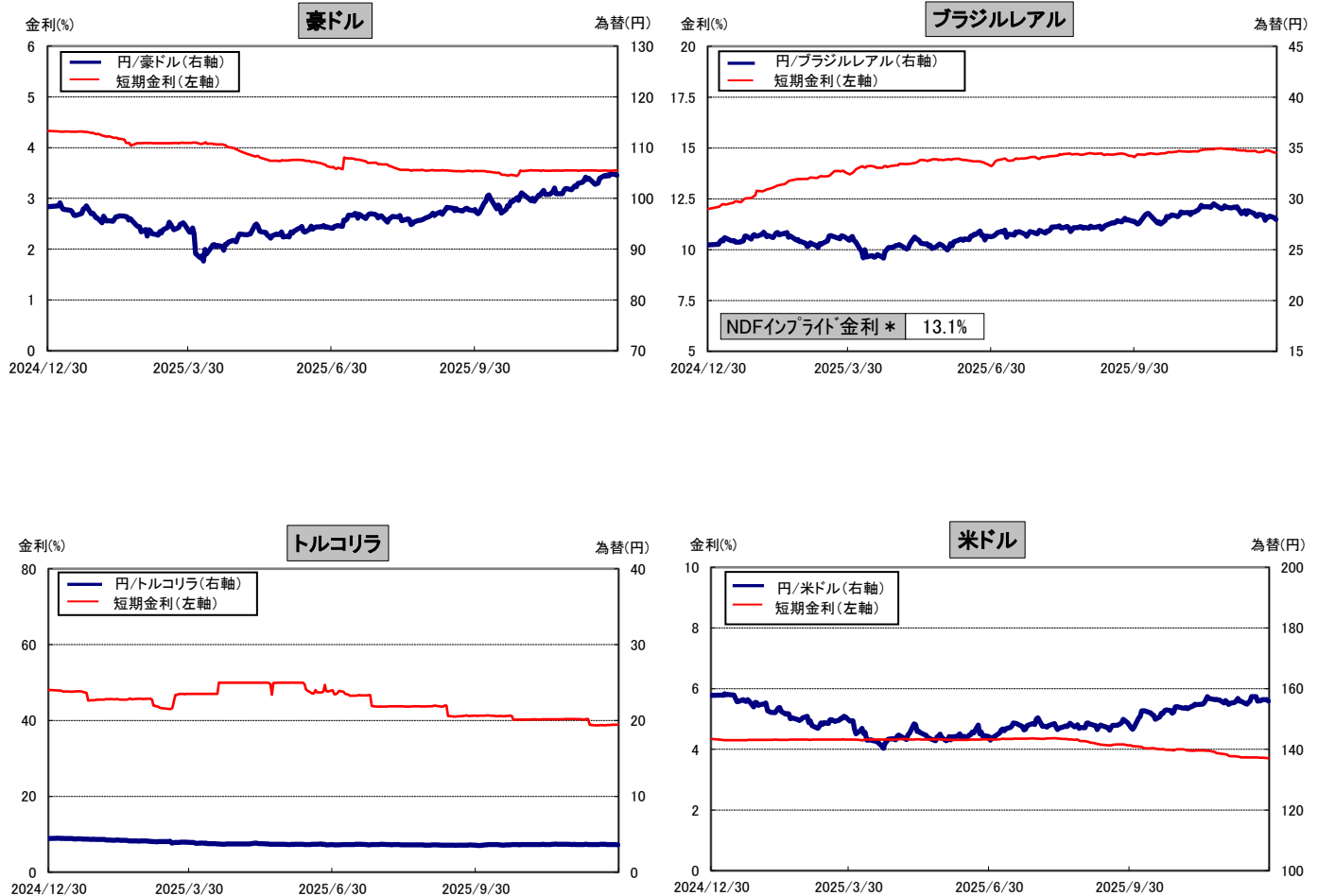
◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2025年12月30日 現在



* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

NDFについては9ページをご参照ください。

・出所:ブルームバーグ等のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

【各通貨の短期金利】豪ドル:銀行手形1ヵ月、ブラジルレアル:国債1ヵ月、トルコリラ:インターバンク・オファー・レート1ヵ月(2022年6月まで)1ヵ月物金利(オーバーナイト・リファレンス・レート+100bps)(2022年7月以降)、米ドル:CMEターム物SOFR1ヵ月物

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

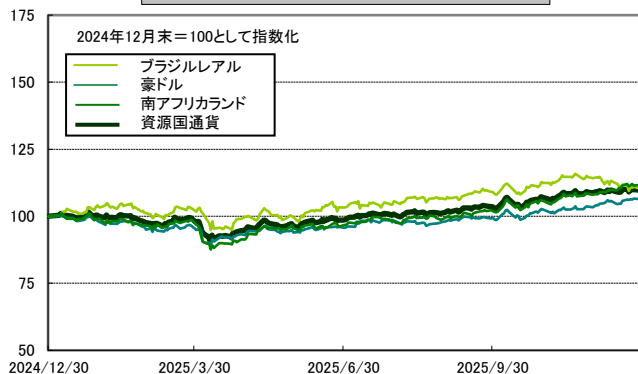
商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



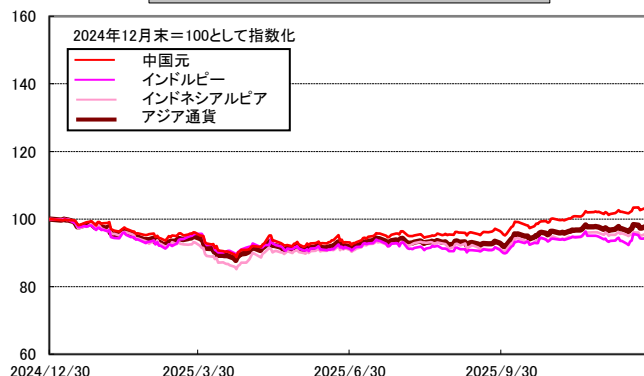
対象通貨国の為替レートおよび短期金利(日次)

2025年12月30日 現在

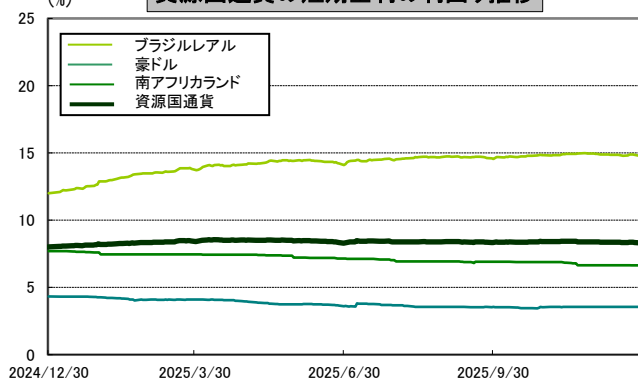
資源国通貨の為替(対円レート)の推移



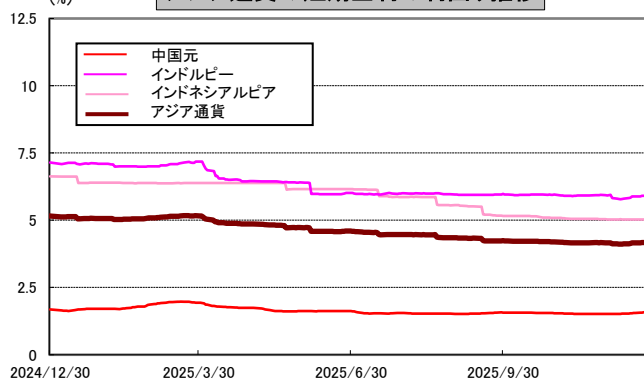
アジア通貨の為替(対円レート)の推移



資源国通貨の短期金利の利回り推移



アジア通貨の短期金利の利回り推移



NDFインプライド金利*

ブラジルレアル	中国元	インドルピー	インドネシアルピア
13.1%	-0.0%	8.4%	4.9%

* NDFインプライド金利は、日々の変動が大きいため20日移動平均を使用しています。また、当資料で用いられているNDFインプライド金利はブルームバーグが集計・公表している数値であり、ファンドにおける実際のNDFインプライド金利とは異なる場合があります。

NDFについては9ページをご参照ください。

・出所:ブルームバーグ等のデータに基づき野村アセットマネジメント作成

【各通貨の短期金利】ブラジルレアル:国債1ヵ月、豪ドル:銀行手形1ヵ月、南アフリカランド:ヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月、中国元:上海インターバンク・オフワード・レート1ヵ月、インドルピー:インドインターバンク1ヵ月レート、インドネシアルピア:インドネシア・ジャカルタ・インターバンク・オフワード・レート1ヵ月

・「資源国通貨」は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

・「アジア通貨」は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)に等分投資し、計算しています。なお、手数料等は考慮していません。

・「資源国通貨」の短期金利は3通貨(ブラジルレアル、豪ドル、南アフリカランド)の短期金利の平均値です。

・「アジア通貨」の短期金利は3通貨(中国元、インドルピー、インドネシアルピア)の短期金利の平均値です。

・上記は過去のデータであり、将来を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの投資成果を示唆あるいは保証するものでもありません。

当資料は、野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等は、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、元金が保証されているものではありません。ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

- 12月の国内株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が月間で0.90%上昇し、月末に3,408.97ポイントとなりました。
- 12月の国内株式市場は上昇しました。月初は、植田日銀総裁の発言などから日銀の利上げ実施の可能性が高まったことなどで下落して始まりました。月央にかけては、FRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ観測やロボット関連分野などAI関連銘柄への物色の広がりなどを受けて上昇に転じ、TOPIXは一時史上最高値を更新しました。その後は、AI関連企業の巨額投資に対する先行き不安が高まったことなどで下落する場面もありましたが、下旬の日銀の金融政策決定会合を受けて上昇に転じました。同会合では政策金利の0.25%利上げが決定されたものの、今後について積極的な追加利上げ姿勢を示さなかったことが好感されました。月末にかけては市場参加者が減少し方向感に欠ける展開となりましたが、月間では上昇となりました。
- 東証33業種で見ると、長期金利上昇が好感された保険業など21業種が上昇しました。一方で、半導体価格高騰に対する懸念などからその他製品など12業種が下落しました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

- 保有銘柄のうち、その他製品株、機械株などの値下がりやマイナスに影響した一方、小売業株、電気機器株などの値上がりやプラスに寄与しました。
- 業種については、電気機器、機械、小売業、銀行業など外需関連企業を中心に投資をしました。
- 個別銘柄の売買については、株価上昇に伴い上値余地が乏しくなったと考えた鉱業株、将来の企業業績見通しに懸念のある電気機器株などを売却しました。一方、資本効率に対する意識が高く、今後の業績拡大についても期待ができる食料品株、AI、データセンター関連で高い成長が期待できる非鉄金属株などを買い付けしました。

今後の運用方針(2026年1月7日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○ 今後の投資環境

米国経済は、底堅く推移していますが労働市場は弱く減速しつつあるとみています。7-9月期の実質GDP(国内総生産)成長率は前期比年率+4.3%となり、消費の大幅増を主因に4-6月期(同+3.8%)から加速しました。一方で、労働市場は、非農業部門雇用者数が10月(前月差-10.5万人)に急減した後、11月(同+6.4万人)には反発しましたが減速傾向にあります。足元のインフレ率は鈍化していますが政府機関閉鎖によるデータ収集の技術的な問題が影響しているとみられ今後は追加関税の価格転嫁による上昇を見込んでいます。12月のFOMC(米連邦公開市場委員会)では政策金利の0.25%利下げが決定されましたが、利下げペースの減速が示唆されており2026年前半の利下げのハードルは高いとみています。当社では、2025年と2026年のGDP成長率は共に前年比+1.9%と、2024年(同+2.8%)から緩やかに減速すると予測しています。

野村証券金融経済研究所による2025年度(Russell/Nomura Large Cap・除く金融・連結ベース、2025年12月30日時点)の企業業績は前年度比2.4%の経常増益となる予想です。2026年度は同6.6%の経常増益となる予想です。また、国内株式市場については実質面で緩やかな金融環境が続くことや緩やかなインフレ環境のもとで上昇基調をたどるとみています。

○ 運用方針

東京株式市場は国内の物価上昇が広がり、堅調な企業業績や日本企業の資本効率改善が期待される中、上昇基調をたどっております。トランプ米政権の関税政策などによる世界経済への悪影響が懸念されるほか、地政学的リスクの高まりやAI関連投資ブームの持続性など不確実性は高まっていると判断しています。組み入れにあたっては、事業環境の変化を好機に変えていける経営力の優れた企業に投資していくことを主軸に、世界の経済成長から恩恵を受ける日本企業の中から、「ものづくり力」、「技術・開発力」、「事業展開力」の視点で、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式「日本ブランド株」に積極的に投資を行なっていく所存です。

*当ファンドは証拠金規制に則り、規制対象取引の評価損益について取引の相手方と証拠金の授受を行なう場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)(ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2025年12月30日 現在

	組入銘柄	組入銘柄解説
1	FOOD & LIFE COMPANIES	回転寿司の「スシロー」ブランドを中心とした外食企業。直営重視の店舗運営・出店戦略でアジアを中心に事業展開してきました。今後は米国への進出による新規顧客の獲得と出店エリアの拡大を目指しています。
2	三井住友フィナンシャルグループ	日本を代表する金融持株会社。アジア、米国、欧州を軸にグローバル金融グループを目指しており、世界の約40カ国・地域で事業を展開しています。海外証券ビジネスの強化やアジアでの買収と提携を通じて、更なる海外成長を進めています。
3	第一生命ホールディングス	大手生命保険企業。人口増加や経済成長によって生命保険市場の拡大が期待できるアジア・豪州地域を中心に海外事業展開を進め、ベトナム、インド、タイ、オーストラリア、ニュージーランドなどに進出しています。
4	富士通	日本を代表するシステムインテグレーター。世界の各地域で事業展開し、グローバルにデジタルサービスを提供。近年はプロダクト中心の事業モデルからFujitsu Uvanceを主軸としたコンサルティングやソリューション中心の事業モデルへの変革を進めています。
5	東京エレクトロン	世界大手の半導体製造装置メーカー。祖業の商社ビジネス由来の営業力で国内外の半導体企業と関係を構築し、海外事業を拡大させてきました。
6	スズキ	軽自動車メーカーで1955年に軽四輪車「スズライト」を発売以来、一貫して小さなクルマづくりを追求してきました。収益柱のインドではトップシェアを誇り、現地顧客から高い支持を得ています。
7	トヨタ自動車	世界有数の自動車メーカー。トヨタ生産方式に基づく競争力を持ち、特にハイブリッド車に強みを持っています。また、燃料電池、電気自動車など多様なパワートレイン技術への取り組みを強化しているほか、自動運転やコネクテッドカー、モビリティサービスへの投資・提携を通じて将来のモビリティ社会を見据えた事業拡大を図っています。
8	日本電気	情報通信技術(ICT)を中核に、ネットワークインフラ、セキュリティ、クラウド、AI、IoT(モノのインターネット)ソリューションなどを提供する総合エレクトロニクス企業。公共・通信キャリア・企業向けのシステムインテグレーションに強みを持ち、社会インフラのデジタル化やサイバーセキュリティ需要に対応した高度な技術力が評価されています。AIやデータ分析を活用したソリューションの拡充、海外市場での事業展開やパートナーシップを通じた成長が期待されます。
9	東京海上ホールディングス	大手保険企業。強固な財務基盤を背景に欧米市場においてM&A(企業の合併・買収)を行ない、積極的にグローバル展開を進めてきました。
10	第一三共	2005年に旧三共と旧第一製薬が経営統合して発足。海外事業展開の歴史は古く、世界100カ国以上で医薬品を販売しています。独自のADC(抗体薬物複合体)をコア技術とした革新的な新薬開発と適応拡大を進めることで、更なる海外事業展開を進めています。

(出所)「組入銘柄解説」は、各社ホームページ等の情報に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。

(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他のいかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 「野村日本ブランド株※投資(通貨選択型)」は、投資する外国投資信託において為替取引手法の異なる7つのコース(円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース(各コースには「毎月分配型」、「年2回決算型」があります。))の14本のファンドから構成されています。

※ファンド名にある「日本ブランド株」とは、グローバルで高い競争力を持つ日本企業の株式を指します。

●【円コース】

中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

【豪ドルコース、ブラジルリアルコース、トルコリラコース、資源国通貨コース、アジア通貨コース、米ドルコース】

高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。

●わが国の株式を実質的な主要投資対象※とします。

※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

●円建ての外国投資信託「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

・「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」には、為替取引手法の異なる7つのコースがあります。

コース名	各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法
円コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、為替取引を行ないません。
豪ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。
ブラジルリアルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。
トルコリラコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、トルコリラを買う為替取引を行ないます。
資源国通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、資源国通貨(ブラジル、オーストラリア、南アフリカの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引※を行ないます。
アジア通貨コース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、アジア通貨(中国、インド、インドネシアの3カ国の通貨バスケット)を買う為替取引※を行ないます。
米ドルコース (毎月分配型)／(年2回決算型)	円建て資産について、原則として円を売り、米ドルを買う為替取引を行ないます。

※保有する円建て資産の3分の1程度ずつ各通貨への実質的なエクスポージャーをとります。

●通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資を中心とします※が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。

※通常の状況においては、「ノムラ・マルチ・カレンシー・ジャパン・ストック・リーダーズ・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

●各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。

●「野村日本ブランド株投資(通貨選択型)」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

●分配の方針

◆毎月分配型

原則、毎月22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に分配を行ないます。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。

また、毎年4月および10月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意ください。

◆年2回決算型

原則、毎年4月および10月の22日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

*委託会社の判断により分配を行なわない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)*ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



投資リスク

各ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、株式および債券等を実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該株式の発行会社および当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また各コース(円コースを除く)は、投資対象とする外国投資信託において円建て資産を対各通貨でそれぞれ為替取引を行ないませんので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

●信託期間

2029年4月23日まで

円コース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、トルコリラコース	2009年4月23日設定
資源国通貨コース、アジア通貨コース	2011年1月17日設定
米ドルコース	2014年1月14日設定

●決算日および
収益分配

【毎月分配型】年12回の決算時(原則、毎月22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
【年2回決算型】年2回の決算時(原則、4月および10月の22日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。

●ご購入価額

ご購入申込日の翌営業日の基準価額

●ご購入単位

1万口以上1口単位(当初元本1口=1円)
または1万円以上1円単位

※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。

●ご換金価額

ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額

●スイッチング

「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングが可能です。

*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。

●お申込不可日

販売会社の営業日であっても、下記に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。

円コース 豪ドルコース ブラジルリアルコース トルコリラコース 資源国通貨コース 米ドルコース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・サンパウロの銀行(ブラジルリアルコースのみ) ・ブラジル商品先物取引所(ブラジルリアルコースのみ)
アジア通貨コース	○申込日当日が以下のいずれかの休業日と同日の場合または12月24日である場合 ・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行 ・ジャカルタの銀行 ○申込日当日が、中国またはインドの連休等で、ご購入、ご換金の申込みの受付を行わないものとして委託会社が指定する日の場合

●課税関係

個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 ＜スイッチング時＞ 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.968%(税抜年0.88%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.668%程度(税込) (注)ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入資産証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社> 野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号

一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員

一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



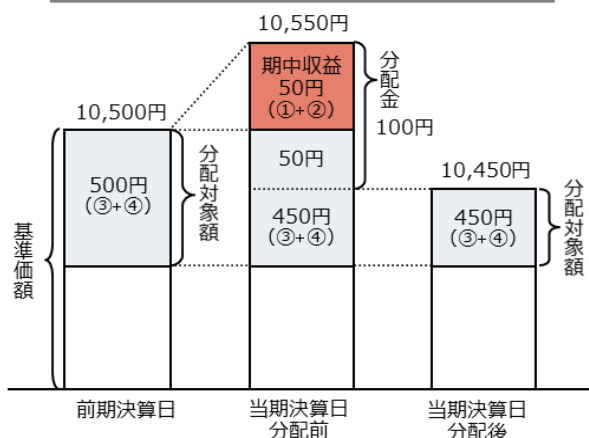
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

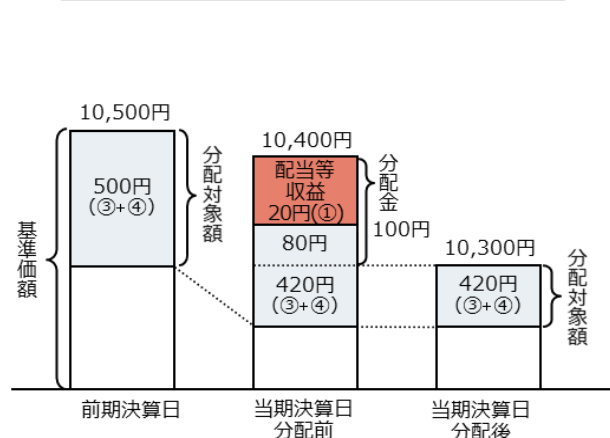
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



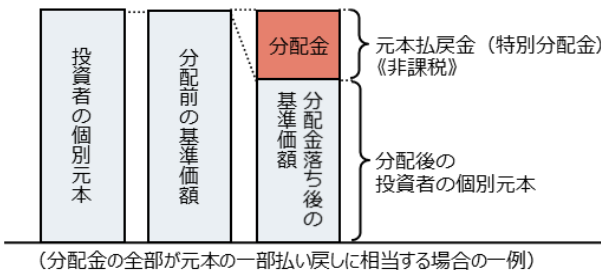
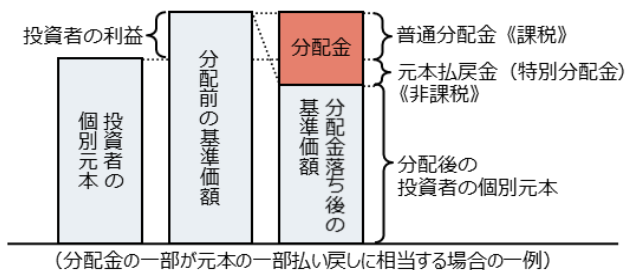
前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

- ◆ 投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村日本ブランド株投資(通貨選択型)
毎月分配型／年2回決算型

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。